

みどり豊かな森林環境づくり推進事業

県民一人ひとりが森林や自然を身近に感じる心を育み、活発な森づくり活動の輪を広げていくことを目的として、地域の方々や県内の市町村が取り組む森づくり活動に対して、やまがた緑環境税を活用し支援する事業です。来年度も引き続き、里山を思う心を育て地域の自然を守り、木に親しむ機会を創出できるよう取り組んでいきます。

最上町での活動事例

地域住民や団体が主体となり、県産木材に触れ合う活動や町内の森林保全の活動及び森林環境学習を行っています。

(令和7年度実績)

最上町での取り組み事業

- ・「回帰の森」森づくり活動事業
- ・森林資源利活用システム学習事業
- ・「花の鶴橋」花の山づくり活動事業
- ・「志茂の手楯」整備事業
- ・奥羽山芭蕉の森「里山文化の継承の森づくり」
- ・前森里山保全と親子森林ふれあい教室事業
- ・「白川桜の散歩道」保育・整備事業
- ・もがみの木質資源利活用推進事業



森林資源利活用システム学習（植樹）

〇お問い合わせ 最上町農林振興課 ☎43-2150

物価高対応子育て応援手当が支給されます

1. 支給対象児童

(1) 令和7年9月分（令和7年9月に出生した児童については10月分）の児童手当の支給対象児童

(2) 令和7年10月1日から令和8年3月31日までに出生した児童

2. 支給対象者

上記(1)の児童手当受給者、または上記(2)の保護者のうち生計を維持する程度の高い者

3. 給付額

対象児童一人につき2万円（1回限り）

※詳細については二次元バーコードを読み込みHPにてご確認ください。

詳細はHPへ



連載 Energy ナビ！

教えて！エネルギーのこと

シリーズ2 薪ストーブの前は、いつも満員です。

～ 石油に頼らない、あたたかさの選択 ～

ストーブの前は、なぜか“みんなが集まってくる場所”になります。人も、猫も、犬も。気づけば同じ距離感で、ぬくぬく。特別な会話がなくても、火を眺めているだけでなぜか落ち着く、そんな不思議な力が薪ストーブにはあります。「火の前に座るだけで気持ちがゆるむ」町内でも、そんな声をよく耳にします。

炎のゆらぎ、薪のはぜる音、じんわり伝わるやさしい暖かさ。エアコンや石油ストーブとは少し違う、“暮らしの中心になる暖房”です。実は最上町は、木質バイオマスストーブ（薪ストーブ等）への補助がとても手厚い町であることをご存じでしょうか。



設置費用の 3分の2 に、さらに 5万円を上乗せ して補助

最大70万円 が支援されるため、「いつか欲しいと思っていた薪ストーブ」が

ぐっと現実的な選択肢になります。

薪の調達しやすい地域であることも、最上町ならではの安心材料。地元資源を活かした暖房は、石油価格に振り回されにくく、冬の光熱費対策としても注目されています。

火のぬくもりに癒やされながら、“燃料の心配を減らした冬”
そんな暮らしを、わが家でも始めてみませんか？

最上町のエネルギー関連補助制度

- 太陽光発電システム導入…最大 93万円
- バイオマスストーブ（薪ストーブ等）…最大70万円
- 省エネエアコン など各種設備にも対応

※詳細は「最上町重点対策加速化事業 太陽光発電設備等導入事業」チラシをご覧ください。

〇お問い合わせ先 商工観光課エネルギー産業推進室
0233-43-2262

